



光の子だより

令和8年1月30日
千葉市立作新小学校
校長 金谷 英味

学校教育目標:一人一人のちがいを大切にし「かしこく あたたかく たくましい」子どもの育成

関わり合いの中から、自分に自信を

暦の上ではまもなく立春を迎えます。職員室前のスイセンがきれいに咲きそろい、寒い中にも春の訪れが少しづつ近づいてきていることを感じます。

学校では今年度、「多様な人の関わりの中で認め合い、自分に自信をもつ子の育成」をテーマに、色々な取組をしてきました。「多様な人」とは、学級、学年、異学年の友達、担任以外の教職員、地域の方、○○教室で来てくださったゲストティーチャーの方、校外学習先でお世話になった方など、日常的に関わる人も含めた色々な方々という意味です。人との関わり合いは、生きていく上で欠かすことができません。慣れない人とのコミュニケーションが苦手な子、関わりたいけど、はずかしがり屋な子もいます。私も小学校低学年までは人見知りで、はずかしがり屋の「内弁慶」タイプ(最近では使わない言葉でしょうか?)だったので、そのような子の気持ちはわかります。しかし、色々な人に出会い、経験を重ねていくうちに今では人とのコミュニケーションが好きになりました。特に子どもと話すことが好きです。作新小の子どもたちも、人と関わり合うことの楽しさを味わい、その中から発見や学びを得てほしいと思います。しかし、時には相手から思わず反応が返ってきて、戸惑うこともあるでしょう。そんな時は、「自分は誰かに同じ思いをさせるようなことはしない」と思ってもらえると嬉しいです。

1月に行われたすてきな関わり合いの場面を紹介します。子どもたちの言動、表情を見ていると成長を感じるとともに、笑みがこぼれてきます。2月に行われる学習参観でもお子さんの成長を感じていただけたらと思います。

【交流タイムで読み聞かせ会】

上学年が下学年に絵本の読み聞かせをし、お返しに下学年は教科書の音読を披露しました。



【1年生 昔遊びの会】

地域の方にゲストティーチャーとして来ていただきました。子どもたちは夢中になって繰り返し挑戦しました。



【千葉市小学校球技大会】

6年生が仲間と力を合わせて、長作小学校、畠小学校と戦いました。学校中が声援を送り、まさにチーム一丸となる、よい大会でした。

